

完全ボルトオン!!
自分で出来る!!

MONKEY ディスク化「Gクラフト編」 前後10インチ

PHOTO&TEXT : MOTO MOTO

足周りの交換で見た目も走りもUP!!

ここではモンキーの前後足周りカスタムの模様を紹介しちやいます。作業をお願いするのはホイールからスイングアームと、足周りパーツを大量にリリース＆ワイドな足周りをここまで広めたGクラフトさんをお願いしました。

今回のメニューとしては、フロントはリーズナブルな価格にもかかわらず品質は変わらぬ+eステムキットに、定番のNSRフォークの組み合わせ。リアはGクラフト内でも最近の売れ筋No.1の+eシリーズ10cmロングスイングアームで、前後ホイールは10インチ3.5Jホイールを装着。今回は少し贅沢に前後にブレンボカニヤリバーを使ったディスク化バージョンをお届けします。

ノーマルモンキーの8インチもかわいくて良いんですけど、やっぱり走りの面では不安が沢山。それに加えエンジンもボアアップ済みだったらドラムブレーキではいざという時に心配。そうするとやっぱりインチアップという選択肢も出て来ますよね!! 今回は前後のディスク化を紹介していますが、定番はフロントのみのディスク化。リアのディスク化は上級者向けです!! のちのちバージョンアップする時の参考に取って置いてもらえると嬉しいです。

足周りの組み込み作業にはエンジンのように特殊工具は殆どいらす、マシンをメンテナンス出来る工具類があればOK。取り付けもノーマルを外して、交換パーツを付けるの繰り返しなので、特に難しいところはないと思います。レッツ足周りカスタム!! レッツ前後10インチ&ディスク化!!

今回使用するパーツ

Gクラフト 三重県亀山市のぼの町13-2 TEL: 0595-85-3608 URL: <http://www.g-craft.com>



+eスイングアーム +10cm パフ無
¥21,000



+eステムキット173-40
¥19,950



10インチワイドホイールタイヤセット
2.75J-3.5J ¥40,950



ウインカステー
¥893



ライトステーショート
φ30フォーク用173mmピッチステム用
¥4,200



リザーブタンクレスキット
¥8,820



+eバックステップドラムディスク兼用
¥33,600



ブレーキサポートカニブレンボ
下側取り付け ¥8,820



キャリアサポートカニブレンボ
2P用 ¥8,820



フロントディスクハブ ¥22,050
リアディスクハブ ¥25,200

メインのステム、スイングアーム、バックステップは品質はそのままに、リーズナブルな価格で人気の+eシリーズを使用。ホイールはディスク化にも合わせ、太すぎないF 2.75J・R 3.5Jをチョイス。リアブレーキ用のリザーブタンクレスキットは形状を変更した最新アイテムを取り付けました ※NSRフォークや、ブレンボ製キャリアはGクラフトさんからの借り物です

作業START

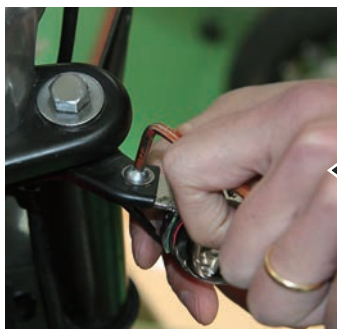
まずはフロント周りのバラし



ライトユニットを外し、中のカブラーを外し、ユニットごと外してしましましょう



ヘッドライト周りを外していきます。下側2本で+ネジで留まっています



ウインカーを外します。今回はノーマルウインカーをそのまま使用予定



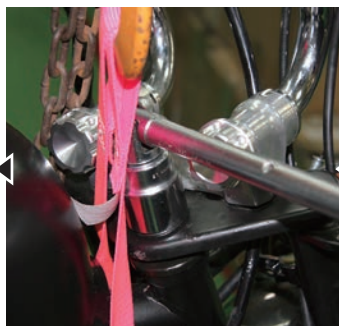
次に両サイドのボルトを外し、ライトケースを外していきます



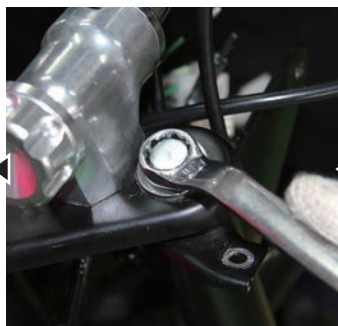
本誌デモ車!? (にとしてはD.I.Y過ぎる) のモンキー。現状フロントはデイトナ製インナーフォーク、リアはシフトアップ製リアショックが装着され、車体周りはほぼノーマル仕様です。エンジンだけは次の企画で組み込みの紹介をしているキタコ製DOHCになっている。せっかくのDOHCエンジンなのに8インチじゃ～楽しめないってことで、今回は10インチ&ディスク化のメニューをチョイス☆



アクセルワイヤー類が邪魔なのでスロットルも外しておきます



ステムナットを緩めます。純正は29とかなりデカイんです!! ソケットが無い場合はモンキーレンチで



フォークを留めているトップキャップを外します。結構緩んでいる時があるのでチェックするといひぞ!



ステアリングハンドルホルダーを留めているトップブリッジ下の2つのボルトを緩めます



車体を安定させ、最後はトップスレッドを手で緩めながら、フォークを引き抜いていきます



トップスレッドを外します。専用工具がない場合は写真のようにマイナスドライバーが使えます



これでステアリングハンドルホルダーごとハンドルが外れました。今回はこのまゝいきます



ハンドル周りを移植するのでブレーキワイヤーも外しておきます



トップスレッドを取り付けます。トップスレッドもGクラフトならではの削り出し品です



車体側にステムを取り付けます。落ちない程度にトップスレッドを締め込んでおきましょう



レース部にベアリングを取り付けます。ベアリング、シャフト部にはグリスを塗っておきましょう



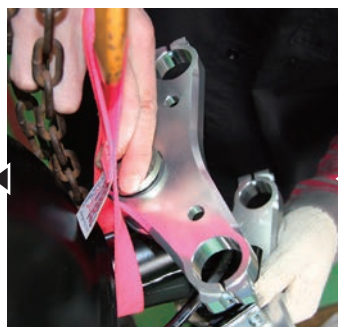
ステムを取り付け前にベアリングレースを圧入します。Gクラフトさんではステム注文時にオプション(¥2,205)で受付中



少し作業が前後しますが…(実は間違えました)ヘッドライトステーを取り付けます



フォークは定番のNSRの純正品を使用します
フォークを取り付けます。フォークは定番のNSRの純正品を使用します



トップブリッジを取り付け、ステムナットを仮留めします。ノーマルハンドル対応です



トップスレッドが作業しやすいようにナット型になっているのも、Gクラフトならではの仕上がり



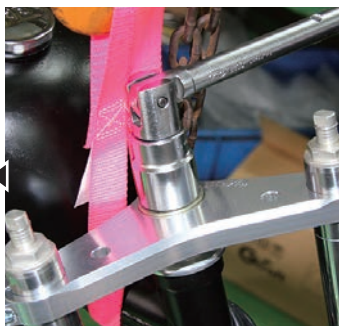
ライトステーにライトケース、ウインカーステーを共締めします



10cmロングスイングアームを想定してフォークの突き出しを調整します



ステアリングハンドルホルダー(いわゆるハンドルですね)をトップブリッジに取り付けます



ここでステムナットを本締めします。



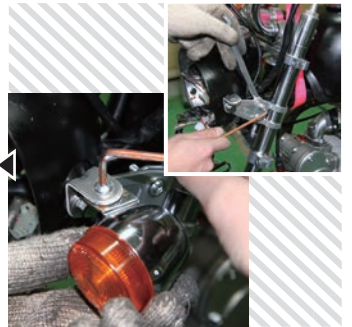
リムを取り付けます。この時リムでチューブを挟んでいないか確認しましょう



ここからはホイールの組み立てを紹介。まずはタイヤのチューブを入れます。タイヤはMAXXIS製



ライトユニットを戻します、ネジ類は無くさないようにパーツごとで小分けにしておくといひぞ



ライトの位置決めをしたら、ライトステーを本締めし、ウインカーも取り付けておきます



メーターギアを入れるのを忘れず！ ついでにメーターワイヤーも取り付けておきましょう



車体にホイールを取り付けます。ここもまだ仮止留めでOKです

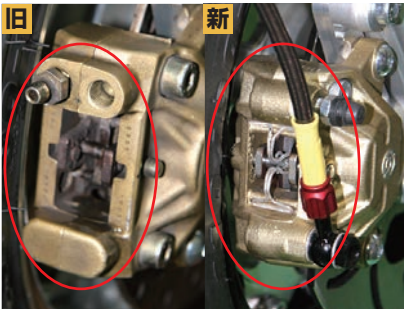


ディスクローターを取り付けます。今回はNSRのローターを使用しました。まだ仮締めでOK



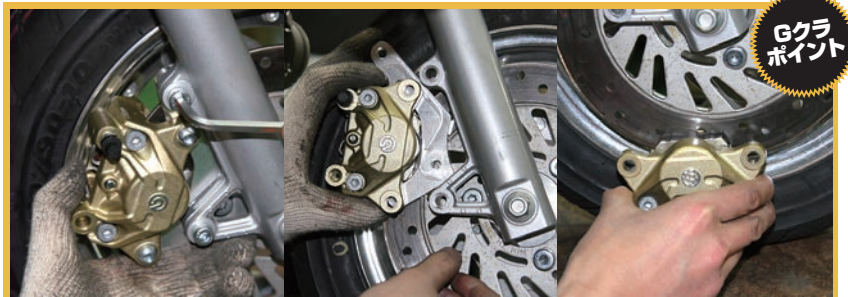
お次はハブを取り付けます。今回はディスク用ハブを使用しました。総割り出しかっこいいですね

豆知識



旧
こちらは今回使用したブレンボ製キャリパーの新旧を比較したもので、○で囲った部分に違いがあり、新タイプは3ラジアルホイルが1個あるが、旧タイプは2ラジアルホイルなので注意!!

新
こちらは今回使用したブレンボ製キャリパーの新旧を比較したもので、○で囲った部分に違いがあり、新タイプは3ラジアルホイルが1個あるが、旧タイプは2ラジアルホイルなので注意!!



Gクラポイント

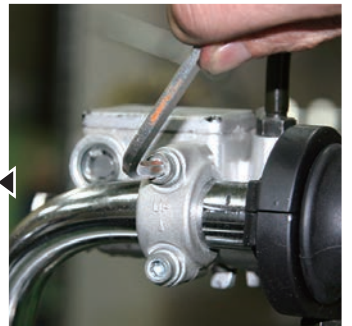
ここからはキャリパーの取り付けをわかりやすいように連続で紹介。まずは下側からキャリパーを入れ、ローターに沿ったまま上側に移動し、キャリパーサポートを合わせ、フォークに取り付けます。各部絶妙なクリアランスで、知恵の輪のようになっていますので、がんばってください。最後に本締めも忘れずね

1/1プラモデル感覚で簡単ボルトオン!!

まずはフロント周りの取り付けの紹介でしたが、いかがでしたか？ 特に難しい!! って作業は無かったはず。強いて言えばブレーキのエア抜きとかが少し面倒かなと思いますが、足周りのパーツの取り付けはプラモデルと同じ。今回のパーツ以外にGクラフトさんではワイドビッチのフォークや、RS/KSRのフォーク、12インチホイール、ワイドホイールなどのステムも発売中。基本の取り付けは同じなので、自分好みのパーツチョイスでマシンをカスタムしよう!!



ブレーキホースをつけ、フルードを入れ、エア抜きしてフロント周りの完成です!!



最後にマスターを取り付けます。今回はGクラフトさんにあったNSF100のものを拝借しました



リアショックが外れました。左側も同じ作業で外してしまいましょう



リアショックを取り外します。下側が緩んでいました。みなさん各部チェックは怠らないように!!



リアのアクスルシャフトを緩め、ホイールを外します。カラーを無くさないように注意!!



ここからはリアの作業に突入です。まずはブレーキロッド類を外していきます

お次はリアのバラし



スイングアームを外します。ついでにチェーンも外してしましましょう



ロングスイングアームに変更するとタイヤが当たってしまうので、リアフェンダーを外しておきます



装着されていたOVER製のバックステップを取り外します。2本留めですね



今回はディスクにするためバックステップを変更します。工具が入らないのでキックアームを外します

リア周りのカスタムは簡単なのだ!!

フロントに比べパーツ点数が少ないリア周りは簡単!! ホイール、リアショック、スイングアームを取るだけ。装着も同じ行程の繰り返しです。今回は前後共にディスク仕様ですが、ノーマルと同じドラムの場合にはもっと簡単なんです。ロングスイングアームにすることで走破性も上がり、見た目もUP。ノーマルルック派は4cm、定番は16cmロングタイプをオススメします。



ノーマルステップを加工してその場しのぎで取り付けていた(笑)スタンドを外します



フレームに装着されていたバックステップのステーを外します



のちのちチェーンを交換することになるのでジェネレーターカバーも外しておきます



リアホイールを組み立てます。ホイールのボルトは対角線上に締めていきましょね



リアショックを取り付けます。今回はデイトナさんの285mmを使用します



スイングアーム側のサス受け用のボルトを締め込んでいきます



まずはスイングアームを取り付けます。ピボットシャフトにグリスを塗るのを忘れずに



※スイングアームのいいところはノーマルのチェーン引きが使えるところ!!



スイングアームにサポートを組み、リアディスクローターを付けたホイールを取り付けます



スプロケットを取り付けます。アルミホイールにゴールドが栄えます



ディスクハブを取り付けていきます。傷をつけないように細心の注意を払いましょう



チェンジ側のステップも取り付けます。左右取り付けたら位置決めをして本締めします



ブレーキ側のステップを取り付けます。まずは仮留めでOKです



バックステップを取り付けます。矢印の部分が凹んでいるのはチェーンを避けるように工夫してあるんです



バックステップ用のプレートフレームに取り付けます。ゴールドはもう少し!



キャリバーを取り付けます。リアはすんなりとついでくれました



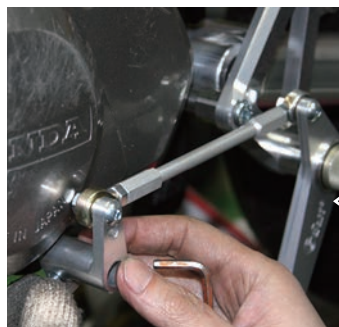
バックステップにペダルジョイントピンを取り付け、割ピンで固定します



ディスク用のプレートを使い、リザーブタンクを取り付けます。タンクがリニューアルしてます!!



ブレーキスイッチ類を取り付けます。少し入り組んでいるところなので、地道にやりましょう



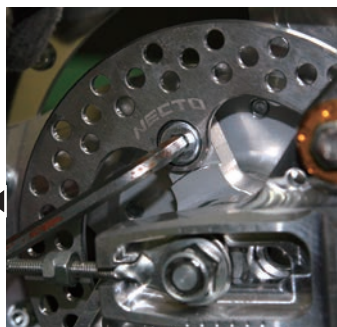
シフトロッドを取り付け、M6のナットを緩め、ペダルの高さを調整します



チェーンを取り付け、ジェネレーターカバーを戻していきます



ブレーキワイヤーを取り付けます。ワイヤーの取り回しはお好みでどうぞ



キャリバーが取り付けできたら、ローターを本締めします。おっNECTOさんのローターですね～



完成!!



最後にステップの高さを調整して終了です。お疲れ様でした!!

前後10インチが やっぱりオススメ!!

実際にモンキーにパーツを組んでみて、本誌ゴリ押しの10インチカスタムスタイルに更に惚れました。モンキーらしさは残しながらも抜群のスタイルの良さ、更には10インチ&前後のロング化で乗りやすく、バックステップでポジションも改善。無難な形かもしれませんがこれが一番走って楽しいスタイル。作業をお願いしたGクラフト内でも絶賛でした!! 今年は皆さんも是非10インチをお試しあれ!!

今回の作業を担当してくれたのは
Gクラフト 今村さん

